

現役大学生の つながる通信



若者からの政策提案！！

大学生の目線から市の課題を見つけ、提案しました。

～コミュニティバスの可能性～

以前豊中市内をコミュニティバスが運行していたこと、(仮称)南部コラボセンターの建設が予定されていることを知り、南部地域でのコミュニティバス運行の可能性について考えました。

現状と 課題

- ・以前のコミュニティバスは運行費の半分以上を市が負担
赤字額は年間約3260万円！！
→結果的に、2年足らずで事業は廃止
- ・南部地域の市民の移動手段は徒歩、自転車が圧倒的多数
→バスのニーズはあまり多くない



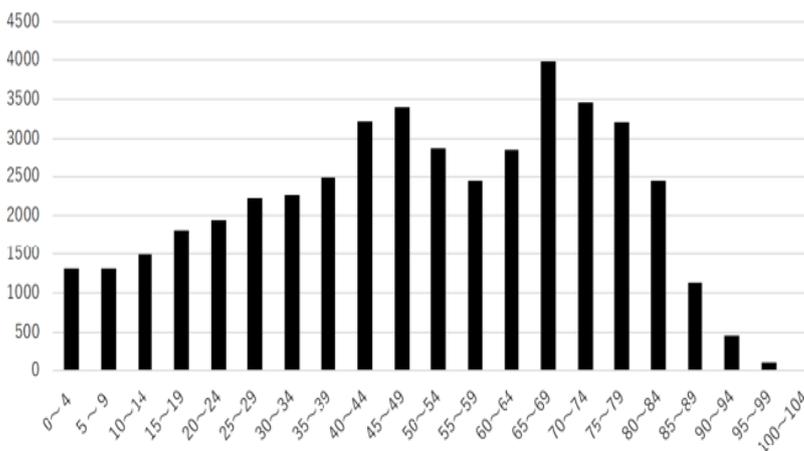
しかし

現段階でのコミュニティバス運行は難しいようにみえますが...

南部地域では高齢化が進んでおり、
今後、更に深刻化が予想されます！！



南部地域の年齢別人口(平成28年4月1日)



- ・左図で最も多い65～69歳の方が10年後には、後期高齢者となり自力での移動(徒歩・自転車)が難しくなってくることを予想されます。
- ・阪急バスの路線が少ない南部地域では、移動に不便を感じる方が増える可能性が考えられます。
- ・市有施設や学校などの集約化や統廃合が進めば、各施設への移動手段としてのバスの需要が高まる可能性もあります。

提案

- ・南部コラボセンターを中心としたコミュニティバスの将来的な運行を検討する
 - ・小型バスを使用し、幅の狭い道路でも運行可能にする
 - ・バスロケーションシステムを活用し、バスの走行場所が分かるようにする
- ※バスロケーションシステムとは、GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停の表示板や携帯電話、インターネット上に情報提供するシステムのこと。

～街区公園の有効活用～

利用者の少ない公園の有効活用を考えました。

現状と課題

- ・住宅地にある街区公園の多くは**利用率がかなり低い**
- ・設置されているのは一般的に**子ども向けの遊具ばかり**
- ・現在、こんな公園は市内に**約300か所**もある
- ・住宅開発とともに**増加し続けている**

* 街区公園とは半径250m以内の住民のため一か所あたり0.25haを標準として設置された公園のこと



提案

- ・**住民のニーズに合った公園にする！！**
- ・**「公園の改善策を地域の方々と議論すべき」**

アイデア① 健康遊具を設置
→利用者を増やすとともに健康を増進

アイデア② 花壇を設置
→地域住民が作業を通じて交流

アイデア③ 公園を芝生化
→地域の方がくつろげる空間を創造

- ・**公園のことをもっと知ってもらおう！！**
- ・**「改善した公園の情報をHP等でPRすべき」**



2か月間のインターン活動を終えて

—感想—

私が活動の中で一番印象に残っているのは議員さんたちが予想に反して接しやすい普通の方々だったことです。そう考えると政治が身近なものであると感じられました。

実際に行った街頭活動は通信を配り、マイクをもって話してみるというもので、通り過ぎていく人に対して話すことの難しさを痛感しました。

夏休みは部活とインターンシップで埋まっていた大変でしたが、充実した夏休みにすることができました。

〈京都大学法学部1回生 亀田孝太郎〉

豊中市で育ってきた私ですが、市が抱える様々な問題は知らないものばかりで無関心でいることはいけないことだと痛感しました。

街頭活動の際、配布物を受け取って下さったり、「活動頑張ってるね」とお声がけ下さった市民の方々に感謝しています。活動の励みになり、嬉しかったですし、やりがいを感じました。

インターン活動で得た知識、感情、出会いを忘れず、これからの大学生活に活かしていきたいと思います。

〈関西学院大学法学部1回生 久岡有香〉

